



「SDGs進捗レポート 2023」 ～GCNJ企業・団体の取り組みの現場から～ オンライン説明会

一般社団法人グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン（GCNJ）

公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）

2000年：国連グローバル・コンパクト創立

国連グローバル・コンパクトとは

「人権・労働・環境・腐敗防止」4分野の国連憲章遵守を推進する団体

- 【世界の署名国数】 162ヶ国
- 【世界の全署名数】 21,647(内、企業:18,102)
※2023年1月 現在

約70ヶ国でローカルネットワークが活動「国連」と「市民社会」を繋ぐ役割を担っている

会員は4分野の国連GC10原則に署名し、世界へ遵守を宣言する

グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン（GCNJ）



- 創立：2003年
- 国連グローバル・コンパクト（国連GC）のローカルネットワーク
- 国連の決議文で、地域における民間セクターのSDGsの実行推進は、グローバル・コンパクトのローカル・ネットワークの役割であると記載（決議番号A/C.2/76/L.13/Rev.1）

【会員数】 **536**（2023年2月現在）

※9割が企業、1割が大学やNGOなど非営利団体

【活動内容】

日本の会員企業・団体のGC10原則、SDGsなどへの自発的戦略的行動をサポートし、各種啓発セミナーの開催、会員企業が主体となるテーマ別の14の分科会などサステナブルな社会の実現にむけて活動を推進。



年度別入会会員数/会員累計

2023年2月末現在：536社・団体



2016年開始

SDGs調査レポートからSDGs進捗レポートへ

SDGsの認知度・浸透度の測定 + 特定テーマの掘り下げ

SDGsの取り組みの質の測定



SDGs実態調査2022

■ 調査目的

- 会員企業・団体が自らのSDGs進捗度を知り、活動推進に役立てる。
- SDGs進捗の現状を分析評価し、GCNJの活動に活かすことで、会員の取り組みを効果的に支援する。

■ 調査期間：

2022年9月26日～11月14日

■ 実施方法：オンライン調査

■ 回答：279（回答率54%）

■ 主な調査分野（企業）

SDGs17ゴールのうち、達成に企業が大きな責任を負っている5つのゴール

- 1. ジェンダー平等（ゴール5）**
- 2. はたらきがい・人権（ゴール8）**
- 3. 循環経済（ゴール12）**
- 4. 気候変動（ゴール13）**
- 5. 腐敗防止（ゴール16）**

■ 社会視点を持つ各分野の専門家が設問を作成し、分析、評価を行った。

※企業以外の団体・自治体は別途、定性調査を行った。